



シューズバンクプロジェクトに応援よろしくお願いたします



氏家茂美様

1月23日(木)5時間目に、東京練馬中央ロータリークラブの氏家茂美様、堀部正行様、市河久和様、マリッサ・バウティスタ様、加賀美肖子様に、お越し頂き、4年生に向けシューズバンクプロジェクトの説明をして頂きました。冒頭に、マリッサ様には、わざわざ美しいプレゼンテーションをご用意して頂き、フィリピンについて詳しく説明をしてくださいました。その後、氏家茂美様からプロジェクトの趣旨や活動に参加する心構えなどについてお話をさせて頂きました。4年生の児童は、真剣にメモをとり、活動についての夢を膨らませています。本校では、5年前より、氏家茂美様の全面的な御支援を頂きながら4年生が総合的な学習の時間の一環として取り組んできましたが、この活動の魅力は、何より、子供たちが集めた靴をフィリピンの小学校の児童に直接届けてくださり、その様子をビデオを見て自分たちの活動の結果を確認することができるとい点にあります。これまで活動に取り組んできた先輩の中には、英語をしっかりと勉強をして、フィリピンとの架け橋となる仕事をしたいと夢を語ってくれた児童がいました。また、自分たちが集めた靴を喜んでくれた友達の事を知り、これからも、自分が世界の子供たちのためにできることをしていきたいと決意を新たにしました児童もいました。

フィリピンでは、一足の靴の値段が、大人の二日分の収入に当たるそうです。日本で考えると、一足15000円から20000円に相当することになります。そのような高価な靴を買うのは大変なことです。靴がなくて学校に行けないというフィリピンの子供たちのために、履かなくなった靴やサイズが合わなくなった靴などを送って「頑張ってください。」と、エールを送る活動がシューズバンクプロジェクトです。「人のために活動することにより、自分たちも成長できます。」と、氏家茂美様から4年生に熱いメッセージも頂きました。皆様のご協力をお願い申し上げます。

日本サッカー協会「JFAこころのプロジェクト・夢の教室」を本校で開催します

シューズバンクプロジェクトでお世話になっている氏家茂美様のお口添えにより、「夢の教室」を実施して頂けることになりました。2月8日(土)に予定していた講演会を「夢の教室」参観に振り替えさせて頂きます。保護者の皆様のご来校をお待ちしております。

① 日時 平成26年2月17日(月) 3・4校時(5年1組みなみん学級児童対象)
5・6校時(5年2組みなみん学級児童対象)

② 内容 夢先生として「波戸康広(はとやすひろ)」さんに、講師としてお越し頂き、波戸先生の体験談をもとに、夢について話し合います。前半の35分は、体育館で体を動かしながら学ぶ「ゲームの時間」です。後半55分は教室で話をする「トークの時間」です。前半の体育館での学習の様子を他の学年の児童が参観し、最後に全児童宛にメッセージをお話し頂くようお願いしています。

③ 波戸康広(はとやすひろ)先生のプロフィール



兵庫県出身。滝川第二高校卒業後の1995年に横浜フリューゲルス(当時)に加入。1998年の天皇杯全日本サッカー選手権大会優勝に貢献、同年のチーム消滅後に横浜F・マリノスに移籍しました。攻撃的なポジションから守備的なポジションへと転向し、主にサイドバックとして活躍。2001年にJリーグヤマザキナビスコカップ、2003年にJリーグ優勝を果たしました。2004年のシーズン途中で柏レイソルに移籍。2006年からは大宮アルディージャでプレーし、2010年に横浜F・マリノスに復帰。2011年のシーズン終了後に現役を引退しました。

2012年からは同クラブのアンバサダーとして活動しています。

日本代表として、2001年・2002年に15試合出場し活躍しました。

ビブリオバトルでの本の紹介を再現してもらいました。

1月20日(月)インフルエンザによる欠席が多かったため、急遽、体育館での全校朝会から放送朝会に切り替えて、6年生の石井菜月さんと5年生の鳴海祥さんに二人が夏に体験したビブリオバトルでの本の紹介を再現してもらいました。聞き手の興味を引く工夫が随所に見られ大変参考になりました。6年生では、丁度、ビブリオバトルの学習を行っているところでしたので、タイムリーな良い手本となりました。



石井菜月さん



鳴海祥さん